

ドイツの伝統を大切に ワイン造りを

日本における

ドイツワイン

ドイツワインの世界的な人気を背景に、ドイツワインの輸出拡大を目的とした「ドイツワイン輸出委員会」が設立された。ドイツワイン輸出委員会副委員長として、ドイツワインの世界的な人気を背景に、ドイツワインの輸出拡大を目的とした「ドイツワイン輸出委員会」が設立された。



ドイツワイン基金輸出委員会副委員長

ステファン・レスさん

ドイツは世界第7位のワイン産出国であるが、ここ数年、フランス、イタリアなどに比べて話題が少なかったことは、残念ながら事実だ。この遅れを取り戻さんと、ドイツワインの素晴らしさを全世界にアピールしているステファン・レスさんにお話を聞いた。(インタビュー・本誌編集長・高山恵太郎)

「レスさんはドイツワイン基金輸出委員会副委員長としてドイツワインを海外に広めるための活動を積極的に行われていますが、対輸出国として日本という圃をどのように見ていますか。」
「日本は我々にとってアジア圏において最も重要な国だと考えています。国民の購買力、人口のバランスなどを見ても、ワイン市場として世界でも有数の可能性を持っている国ですね。そしてワインを販売するにあたっては、経済力だけではなく、文化度の高さが不可欠なものです。つまり、ワインに付随する歴史やストーリーを理解していただき、

ワインを大切に感じ文化が備わった国でないと、なかなかワインを販売するのは難しい。その意味で、日本の方々はワインの背景にある文化に対して非常に強い関心を抱いてくれます。ワインを売るための条件を全て備えた国だといっています。」
「それでは、日本でドイツワインを広めるに当たって、どのような点をPRされていきますか。」
「ドイツワインが誇るべきところは、何といっても長年にわたり培われてきた伝統です。ドイツ国民特有のクラフトマンシップ(職人気質)に基づいた、丁寧なぶどう栽培とワイン醸造。ドイツのワイナリー全体に共通するこうした特徴は、最近話題のニューワールドワインに十分対抗できるもので、日本の皆様にとっても、非常に魅力的なアピールポイントになると思います。」

「ドイツワインの背景にある文化に非常に強い関心を抱いてくれます。ワインを売るための条件を全て備えた国だといっています。」
「ドイツワインの背景にある文化に非常に強い関心を抱いてくれます。ワインを売るための条件を全て備えた国だといっています。」

「ドイツワインの背景にある文化に非常に強い関心を抱いてくれます。ワインを売るための条件を全て備えた国だといっています。」
「ドイツワインの背景にある文化に非常に強い関心を抱いてくれます。ワインを売るための条件を全て備えた国だといっています。」

TARU INTERVIEW